



2025年の1月20日は、「二十四節気」の第24番目にあたる「大寒」となり、一年で一番寒さが厳しくなるころです。各地で一年の最低気温が記録されるころですが、自然界は少しずつ春に向けて動き始めています。

土の中、森の中、家の中では、どんな準備が始まっているのでしょうか。

厳しい寒さの中にもささやかな春を感じる喜びが描かれた本を読んでみるのもいいかもしれませんね。



小学校の図書室へ

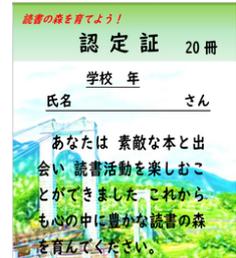
園児が、小学校の図書室へ行きました。



園児たちは、図書室の席に座って、校長先生の読み聞かせを楽しそうに聞いていました。【すえひろこども園】

えほん・読書の森を広げよう

「えほんのもり」「読書の森」は読書記録帳です。本を20冊読み終わると教育委員会から『がんばったでしょう』『認定証』を渡しています。励みになればと思っています。



読書活動推進への取組紹介



お話給食

学校では、「本からの給食」と題して、本に登場する献立が出ます。

10月2日 水曜日 本からの給食「西の魔女が死んだ」よりトマトスープ



中学校給食の献立が秦野市のホームページでみるができます。

令和6年度は、10月に6回お話給食がありました。

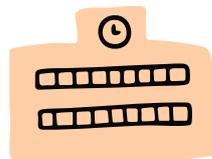


えびピラフ、鶏肉の香味ソースがけ、トマトスープ、牛乳 【秦野市ホームページより】

本に出てくるメニューが出てくると、どんな物語が気になりますよね。

おしゃべりの部屋

「おしゃべりの部屋」と称して、保護者同士の懇談会を図書室で実施。ささやかで特別な時間となったようです。



「いろいろな本がある」「すてきな本がある」と感動して本を借りた保護者の方も。本を通して会話のきっかけとなったようです。【渋沢中学校】

